

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

四季から二季でも 「実りの秋」！

全国的に酷暑が続き、九月も末ですが、三十度を超える日々が続いています。さすがに朝夕は少し涼しく感じますが、この間新聞に日本は四季から「二季」という、夏と冬の二つの季節に変化してきているという記事が載っていました。私は季節の移り変わりに敏感で、その予兆や二つの季節で揺らぐはざまの時期が大好きですが、それは日本という国の春夏秋冬の四季があればこそです。二季になってしまったら若干寂しく感じますね。

とは言えやはり秋は「実りの秋」です。子どもたちそれぞれが自分たちの成長を感じ、集団のまとまりを感じ、多くの思い出を作る「秋」です。それぞれの取り組みがかけがえのない素晴らしいものになるように、応援しますし、心から願っています。

十四歳の君へ

佐賀新聞に「桐島、部活やめるってよ」等の作品で有名な作家である朝井リョウさんの「わたしたちの授業・国語」が掲載されていましたのでその一部を紹介します。

——テーマ「言葉は身を守る」——
国語は全教科の土台になります。文章を読むのが好きだと教科書を読むのも苦にならず、どの教科にも使える。数学の証明問題にも、社会科の記述式問題にも役立つ。人間関係のトラブルも言葉を持っていると身を守れます。主観を元にした言い合いだ、状況を正しく説明できないと不利になる。本や新聞、SNSでも何でも自分が吸収できる方法で言葉を身に付けてほしい。

執着できる、好きで心を掴まれる対象があれば、何らかの形で自分を助けるから続けてほしい。ないなら安全策でとりあえず勉強して学歴社会をずくく利用してほしい。将来何をやりたくなってもいいように。

人生の選択

中学時代は成長途中で、一番中途半端な時期だと思う。やがて落ち着くから「自分はだめだ」なんて思わなくていい。中学時代はまだ人生の一時間目。とりあえずやり過ぎず、みたいな感覚も重要です。

他人の目を気にして自分を調整しても報われません。他人の目や常識なんて、時代とともに容赦なく変わる。だから現状に合わせた自分を本当の自分だと思わないで。

「今を乗り切るために同調圧力に染まるときですか」くらいの気持ちで、ずるく波に乗り、選択肢が増える年齢まで辿り着いてほしい。

6月の通信で二歳下の弟に学んだことを書きました。大学でワンダーフォーゲル部だった弟は奄美大島縦走を初め山や川、海を縦横無尽に駆け巡る度胸と大胆さがあり、陸上競技三昧だった私はその奔放さが羨ましかったです。

皆さんは今、目の前にあるものが全世界だと思いがち。でも中学の悩みを今も抱える大人には出会わない。たった三年の中学時代に人生を左右させてたまるか。無事に通過すればそれで十分です。

お互いに転職したり新しい家族が増えたりと落ち着かない時期もありましたが、生活が安定してきた三十代になってもお酒を飲みながら、「アラスカのユーコン河をカヌーで下ろう」とか「カリフォルニアでバハ1000マイルレースに出よう」など共通の趣味のアウトドアやバイクの話を飽きることなく語っていました。妹からは「もう大人なんだから！」と説教されていました。

人生の先輩として、今に過剰に囚われすぎず「中学時代は人生の一時間目」だから「とりあえずやり過ぎず」姿勢も大事だという貴重なアドバイスを発信されています。自分の中学時代と重ねて、ひとつひとつの言葉が胸に染み込みました。良い時もそうでない時も等しく時は過ぎていきます。目の前の世界が開けるまでしなやかに生き、力を蓄えましょう。

そんな我々も五十歳後半となり、弟は腰と膝の調子が悪く、バイクもカヌーも厳しくなりました。私は難聴で十年前にバイクを売り、長距離のオフロード走行はもう難しいと感じています。それなりに楽しんできた人ですが、手を付けきれなかったこともやはりあります。どちらを取り組むか、選ぶか、判断の決め手になったのは何でしょう？ その時々で理由は異なり

ますが、自分自身の心と対峙し、状況をじっくりと考え、判断してきたと思います。そしてその判断はその時々では「最適だった」と思うようにしています。

「できなかったこと」をあとの結果だけ見て後悔してみても、それは無意味です。「できなかったこと」「失ったもの」の反対側には「成しえたこと」「得たもの」が必ずあるからです。

「じゃなかった方の人生」に思いを馳せるのは仕方ないことかもしれませんが、そこに留まったり囚われすぎたりするのは良くないマインドです。変わらない「過去」や努力してもどうすることもできない「人の気持ち」や「時代」に囚われず、これからの自分の努力で変えられる「未来」を創り上げるためにしっかりと考え「選択」していきたいと思います。

大人になったとき「あの時頑張ってたよかった」「あの時真剣に考えて判断して良かった」と思えるように。もし皆さんが悩むことがあれば、私たちも一緒に考えるのでいつでも声をかけてください。一緒に考えましょう。

校長室より

最近やたらとバイクに乗りたくなりますが、欲しくなるのは昔憧れたマシンばかりです。「十代の好みは固着する」そうです。今好きなものは大人になってもそのままかもしれませんね。